

サマリー

「アジアガス市場の安定化に向けた諸方策等に関する調査研究」の概要

戦略・産業ユニット 石油・ガス戦略 G 森川 哲男

本研究は、「アジアガス市場の安定化に向けた諸方策等に関する調査研究」の表題の下、平成 17 年度国際石油需給体制等調査「アジア石油市場の安定化に向けた諸方策に関する研究」と同様に、日本側研究主体として財団法人日本エネルギー経済研究所 (Institute of Energy Economics, Japan: IEEJ)、インド側研究主体として Petroleum Planning & Analysis Cell (PPAC) の二つの機関が、共同で調査研究を行い、アジアのガス市場について様々な観点から分析し、英文報告書を取りまとめたものである。

本稿では、本共同研究に関して、まず第 1 章ではその意義について、第 2 章ではその経緯について、第 3 章ではその概要について、第 4 章ではその主な成果と今後の課題について整理を行った。

各分析を踏まえて得られたアジアガス市場安定化ための本共同研究の提言として、①柔軟かつ、透明性の高いガス価格体系の構築、②ガス供給力の拡大とガス供給源の多角化、③天然ガスインフラ整備、④天然ガス探鉱・開発、インフラ整備等への投資の確保、⑤天然ガス需給や取引に関する情報や研究成果の共有化、⑥政府・民間・研究者レベルの地域協力の促進、が挙げられる。

お問い合わせ先: report@tky.ieej.or.jp